

Kitakyushu Foreign Trade Association

GLOBAL VIEW

2009 SPRING No.8

北九州貿易情報「グローバル・ビュー」2009年・春号

- 言志私録 ● 「バトラー風人生」大石産業㈱ 代表取締役社長 中村 英輝…………… 1
- 特 集 ● 「九州アジア国際化レポート2008」…………… 2
- 会員情報 ● 会員だより(Mishima Teck America, Inc.) / 会員紹介(宮西設備㈱、税理士法人SKC) 4・7
- ニュース ● アジア経済情報 / 大連だより…………… 5
- 事業紹介 ● 中国・大連市にチャレンジショップ開設 / 上海事務所移転のお知らせ …… 6
- 貿易実務 ● 貿易保険ご活用のおすすめ …… 8
- 経済分析 ● 中国経済データ紹介(日本統計センター) …… 9
- 協賛広告 ● (社)北九州貿易協会 創立40周年記念協賛広告…………… 10
- イベント ● 西日本インポートフェア / 西日本総合機械展 / アジア産業交流フェア …… 12



北九州貿易協会
Kitakyushu Foreign Trade Association



大石産業株式会社
代表取締役社長

中村 英輝

バトラー風人生

昨年の今頃は…と言ってもその頃の今頃がどんなであったかを正確に思い出せる人はそう多くはないかもしれません。それは直近の経済状況の変化があまりに大き過ぎて、その対応に忙殺されているせいであることは想像に難くありません。米国に端を発した金融不安は瞬く間に全世界に及び、世界バブル崩壊となって実体経済を揺さぶっています。精緻な金融工学を駆使したビジネスモデルも敢え無く消滅し、小国とはいえ北欧の一国を経済破綻させるまでに至りました。100年に一度、或いはアメリカ大恐慌以上との表現も、その影響の大きさを物語っています。

本来、座右の銘は心の拠り所、羅針盤としてこんな激変の時にこそ価値を持つものかもしれません。正直言って確たるものは持ち合わせていませんが、最近、手帳の片隅で出会ったサミュエル・バトラーの言葉は、ある意味こういう時代にぴったりと来る気がします。「人生とは不完全という前提から、十分な結論を導き出す芸術である」というものです。読み手の感じ方で解釈は分かれるところかもしれません。しかし、鷹揚さ、積極性を感じさせながら現状認識・努力・達成感といったものをシンプルに表現しているように思えます。

膨大な量の情報が行き交う過密な社会では、多様性や独創性が求められながらも価値観や行動は画一化されがちです。そして、針が振り切れるほど成果を追及する苛烈な状況では、「完璧」を求めることが文字通り一般的な「十分な結論」に結びつくのかもしれません。しかし、バトラーの言う「十分な結論」には「好い加減」という響きが含まれるような気がします。「よい程合い、ほどほど」といった意味合いの「好い加減」は、とかく不完全な前提を嘆き、完璧な結論を切望する現代においては心の余裕となります。バトラーのように「人生とは不完全という前提から、十分な結論を導き出す芸術である」とゆったり構えてみたいものです。

中村英輝



「佐藤一斎像」
渡辺華山 筆

当ページの由来となった「言志四録」は、江戸時代後期、儒学の最高権威と崇められた「佐藤一斎」が40数年の歳月をかけ記した語録。小泉前総理が、審議中に「言志四録」についてふれ、知名度があがる。現代にも通じる指導者のためのパイプ的存在。

(参考:ウィキペディア)

九州アジア国際化レポート2008

～好調な世界経済にけん引されたアジアと九州経済～

九州経済産業局では、直近(2007年)データにより九州の国際的な経済活動について現状把握及び分析を行い、広く情報提供を行うことを目的として「九州アジア国際化レポート2008」を作成しました。

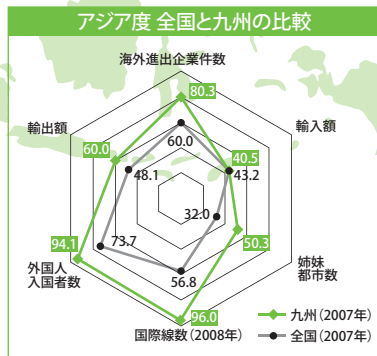
本レポートでは、九州と中国、韓国、環黄海地域、ASEANといった地域に加え、自動車や半導体などの九州の主要産業にスポットを当てた各種データによる考察等に加え、全体を3部構成としています。

また、巻末資料として九州の品目別及び国(地域)別輸出入額の表や各図表のバックデータをはじめ、九州経済産業局の進める「九州経済国際化戦略」などを掲載しています。

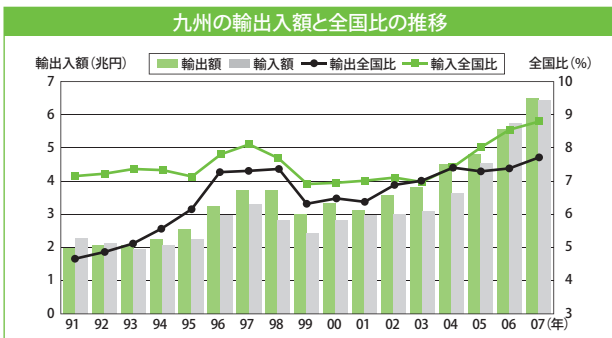
●レポートの概要

第1部 アジアの中の九州経済

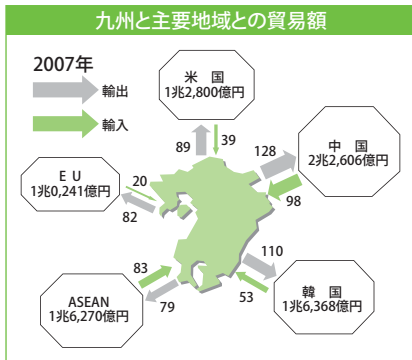
①九州の経済活動に占めるアジアの割合(アジア度)は、ほとんどの分野で全国よりも高い。



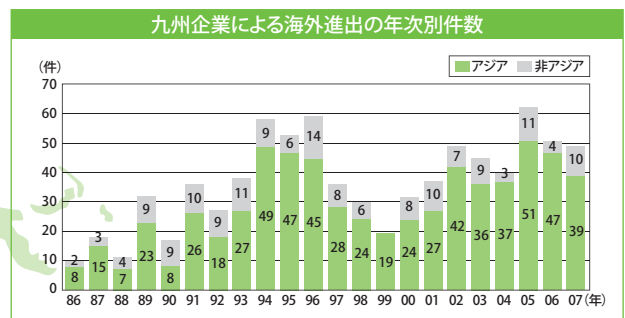
②九州の輸出額は約6.5兆円、輸入額は6.4兆円でともに過去最高。
③電気機械や輸送機械の輸出の伸びが大きく、2007年は輸出超過となった。



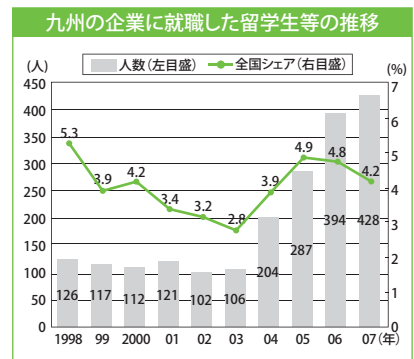
④10年前と比較すると、中国・韓国をはじめとするアジアとの貿易拡大が顕著。



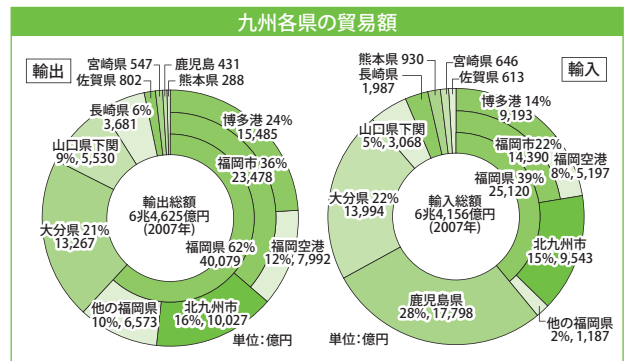
⑤九州企業の海外進出件数は49件で、ここ数年横ばい。



⑥海外から九州への入国者は92.7万人で6年連続で過去最高を更新。
⑦九州企業へ就職した留学生は増加しているものの、九州の対全国シェアは低下。



⑧貿易額を県別で見ると、輸出は福岡県と大分県で8割を超え、輸入は福岡県と鹿児島県と大分県で約9割を占める。

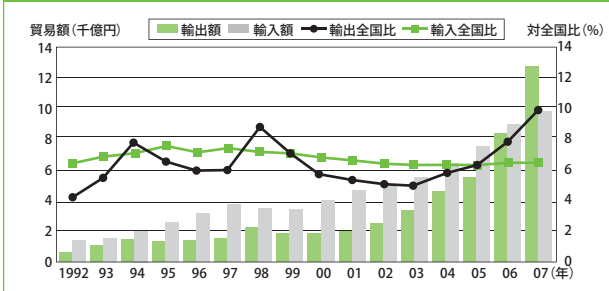


⑨輸出品目では、福岡の自動車、佐賀と長崎の新造船、大分のデジタルカメラ等、宮崎の化学品に特徴がみられる。
⑩輸入品目では、福岡空港の集積回路、鹿児島と大分の石油類、下関港の繊維製品に特徴がみられる。

第2部 アジアのダイナミズムと九州

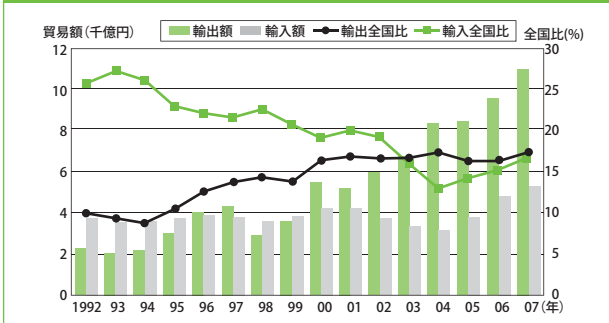
- ①中国は九州の最大の貿易相手国で、九州の対中国輸出は1兆2,782億円、輸入は9,823億円で、貿易額は8年連続で過去最高を更新。
- ②輸出品目は電気機械などの機械機器が約6割を占め、輸入品目は電気機械、繊維製品、食料品が多い。

九州の対中国貿易額の推移



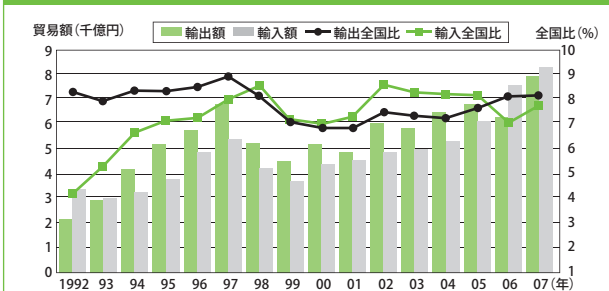
- ③韓国は九州にとって第2位の貿易相手国であり、九州の対韓国輸出は1兆1,035億円、輸入は5,333億円となった。
- ④輸出品目は一般機械などの機械機器が6割近くを占め、輸入品目は集積回路といった電気機械や金属品が多い。

九州の対韓国貿易額の推移



- ⑤九州の対ASEAN輸出は7,934億円、輸入は8,337億円で、5年連続で過去最高を更新。

九州の対ASEAN貿易額の推移

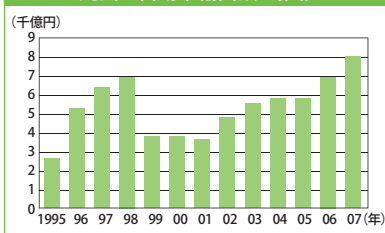


- ⑥九州企業の海外進出件数は、中国が379件、韓国が43件、ASEANが162件となっている。

第3部 アジア・世界に広がる九州の産業

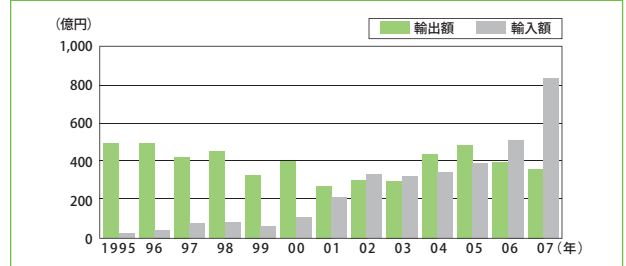
- ①九州からの自動車の輸出額は8,058億円で6年連続増加。輸出先は北米、中国、EUの割合が高く、特に中国向けの輸出額の伸びが大きい。

九州の自動車輸出額の推移



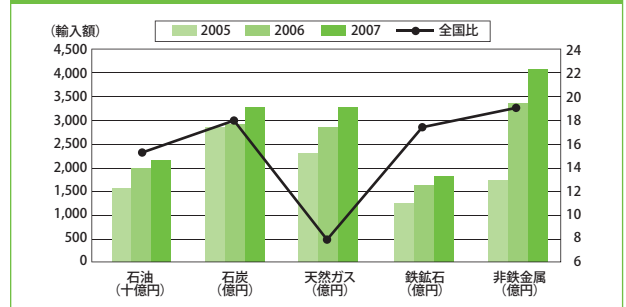
- ②九州の自動車部品の輸出額は360億円、輸入額は832億円。主な輸出先は北米と中国、輸入元はASEAN、中国、北米となっており、特に中国から輸入が伸長。

九州の自動車部品貿易額の推移



- ③九州の半導体等電子部品の輸出額は6,290億円、輸入額は3,319億円。主な輸出先は中国をはじめとするアジアが9割、輸入元は韓国が急増し6割近くを占めている。
- ④九州の食料品輸出額は493億円で全国シェアは12%と比較的高く、品目別では魚介類が4分の3を占め、輸出先は韓国と中国で5割超。
- ⑤九州の鉄鋼貿易額は、輸出が5,078億円、輸入が1,060億円。主な輸出先は韓国・中国・タイで、主な輸出品目はフラットロール製品やレール、鋼管など。
- ⑥九州の客船・タンカーの輸出額は4,829億円で、全国シェアも27.6%と高い。2007年の造船受注量は世界シェア4.0%と前年比4.3ポイントの減となっている。
- ⑦九州の資源輸入に関し、石油は2兆1,675億円、石炭は3,265億円、天然ガスは3,257億円、鉄鉱石は1,806億円、非鉄金属は4,053億円となっている。

主な資源・エネルギーの輸入額と全国比



- ⑧九州のタイへの輸出額は前年比30%増、輸入額は3%増で、輸出で7番目、輸入で10番目の貿易相手国。
- ⑨九州のベトナムへの輸出額は前年比77%増、輸入額も39%増と非常に高い伸びを示した。

●レポートの入手方法

送付先を記載し、290円切手(2冊以上の場合にはご相談下さい。)を貼ったA4サイズの返信用封筒を同封のうえ、下記にお申し込み下さい。

〒812-8546 福岡市博多区博多駅東2丁目11番1号
九州経済産業局国際部国際企画調査課
「九州アジア国際化レポート」担当 行
TEL.092-482-5428 FAX.092-482-5321

また、九州経済産業局ホームページでも公開しています。

<http://www.kyushu.meti.go.jp>

サラブレッドとフライドチキンのふるさと ケンタッキー

Mishima Teck America, Inc. (三島光産株式会社100%子会社) マネージャー 新田 誠

アメリカ合衆国の中東部に位置するケンタッキー州。1792年に15番目の州として成立しました。州の人口は約420万人で、州都フラン克福ォートは北緯38.1度と山形県とほぼ同じ緯度にあります。春から秋にかけては温暖で日本に比べると湿度が低いために非常に過ごし易いですが、冬は氷点下15度以下まで下がる日もあり、九州人にとっては厳しく感じます。

ケンタッキー州は「Blue Grass State (牧草州)」とも呼ばれ、州中部のレキシントン周辺は世界的にも有名なサラブレッドの産地であり、州最大の都市レイビルは世界最高峰である「ケンタッキーダービー」の開催地としても知られています。日本でも有名な「ケンタッキーフライドチキン」の創業者カーネル・サンダースは、ケンタッキー州のガソリンスタンド併設のカフェで、フライドチキンをメニューとしたことが、現在の大フランチャイズの原点になっています。また同州は第16代大統領エイブラハム・リンカーンの出身地でもあり、生誕地や幼少時に育った旧家、リンカーンが北軍を率いて戦った南北戦争(1861年～1865年)の史跡や古戦場などがあり、今では観光スポットとなっています。その他、日本人にも馴染みの深いところでは、バーボンウイスキーの「Wild Turkey」や「Maker's Mark」、「Four Roses」などの産地であり、工場見学ツアーなどもあり、多くの観光客が訪れています。

ケンタッキー州の産業といえば、馬、牛などの農業、たばこやトウモロコシの生産が主な産業でしたが、トヨタ自動車は1986年にジョージタウン市に、車両組立工場を設立し、生産を開始して以来、自動車産業は大幅に拡大し、関連日系企業も次々に進出し、今では150社以上の日系企業が進出し、数千人の日本人が滞在しております。



Mishima Tech America, Inc.

「Mishima Tech America, Inc.」(以下 MTA)は1997年に設立し、1998年には州都フラン克福ォート市に工場を建設しました。現在、14名の従業員が在籍しており、自動車製造に関わる設備のエンジニアリング・製作を行っております。ケンタッキーを中心に、北米各地の自動車製造メーカーに製品を納入しています。

米国では従業員の定着率が悪いと聞いていましたが、MTAにおいては従業員の定着率は良く、協力的であり、その点では助かっております。しかし、下請会社となる米国企業の納期や品質に関して、苦労しています。部品の精度、納期どれをとっても日本製品は大変優れていると痛感いたします。現在、より良いビジネスパートナーの情報を集めていますが、輸送コストや納期の問題からパートナーを探す地域は限定されているため、なかなか見つからないのが現状です。現状では、諸問題は抱えているものの、将来的には日本人ではなく、米国人を主役にした企業にし、米国に立地している企業である以上、「日系企業」ではなく「米国企業」として現地化させたいと考えております。

最後になりましたが、ケンタッキー州では昨年のゴルフライダークップ開催、そして2010年にケンタッキーで開催される予定になっているFEI国際馬術連盟主催の世界選手権など、かつてない国際的なスポットライトを浴びることになりそうです。

米国へお越しの際は、是非ともお立ち寄りください。



ケンランド競馬



リンカーン大統領像



ケンタッキー州会議事堂



ケンタッキーフライドチキン1号店

北九州貿易協会 ウィークリーニュースとは

「北九州貿易協会ウィークリーニュース」は、(株)エヌ・エヌ・エーの提供するアジアのビジネス情報、駐大連北九州市経済事務所からの現地情報、国内外の経済情報、各種展示会情報などを満載して、毎週月曜日に北九州貿易協会会員の皆様にメール配信しています。

経済安定を重視、8%達成に自信＝政府活動報告

[中国]

第11期全国人民代表大会(全人代)第2回会議が3月5日開幕し、温家宝首相が政府活動報告を行った。今年の成長率目標は、昨年の活動報告と同じく「8%前後」と設定。ただし、景気過熱を抑える下方目標だった8%は、景気低迷から脱却する上方目標としての8%に変化、背景にある経済環境の厳しさを浮き彫りにした形となった。ただし多難な現状認識を示しつつ「政策を正しく、着実に実施すれば達成可能」として、改めて強気姿勢を示した。

活動報告では、昨年を「史上まれにみる大きなチャレンジと試練に耐えた」としつつ、「改革開放と社会主義現代化建設で大きな成果を勝

ち取った年」と総括。昨年9月以降、悪化の一途をたどった経済危機の中で、当初のインフレ抑制策から積極財政と通貨緩和政策へと軸足を移し、3回の輸出税還付率の引き上げ、5回の利下げ、4回の預金準備率引き上げなど迅速に対応したのが功を奏したと自負した。

今年は8%成長のほか、都市部の新規雇用を900万人以上と目標設定。都市部の失業率を4.6%以下に、また消費者物価上昇率(CPI)の上昇幅を約4%に抑えるとした。また、出稼ぎ労働者(農民工)の収入を安定化させることにも言及した。

ラオス鉄道開通、日本が物流拠点構想も

[インドシナ]

タイ～ラオス間の鉄道開通式が3月5日、行われた。ラオス初の鉄道となり、タイ・ノンカイから第1メコン国際橋(第1友好橋)を通過しラオス・タナレンに至る5.3キロ。タナレン駅は将来、日本が支援を構想する物流センターの機能を担い、ラオスの物流事情改善に貢献する期待がある。

ビエンチャン市街への9キロ延伸も予定されている。鉄道利用本格化は、タイ・レムチャバン港との貨物便運行や、日本が支援を期待さ

れている工業団地・物流センター計画が果たす役割が大きい。

日本政府はタナレンでの物流センター建設をラオス側に提案。また、タナレンから北に約10キロのビエンチャン工業ゾーン内に経済特別区(SEZ)を建設する提案。センターが整備されるとバンコクとハノイともに750キロという中継地点のメリットもでてくる。ラオス国内総生産(GDP)の3分の2が集中するビエンチャン首都圏発着の貨物需要を取り込み、国際陸上輸送網が拡大する。

海外からの受注拡大、日中間との逆サンドイッチ現象で

[韓国]

韓国の自動車部品メーカーなどが海外メーカーからの受注を拡大させている。対円レートが23日、1977年の統計開始以来、初めて1,600ウォンを突破した。昨今のウォン安による低価格と技術の向上で“逆サンドイッチ現象”が発生。品質と価格競争力を同時に備えた韓国企業に目を向けた格好になっている。

ポスコはトヨタ自動車(本社・愛知県)に自動車用冷延鋼板の供給。自動車部品メーカーのウシジマ工業は、オムロン(本社・京都市)系列の

デュアルテック・オートモーティブ・エレクトロニクス(カナダ)に今年から年間300万米ドル相当の製品を輸出する。これまでデュアルテック社は日本本社からモジュール部品を調達してきたが、円高で輸入価格が上昇したため、取引先を韓国企業に変更した。米フォードの購入担当者はこのほどソウルで行われた韓国企業との商談イベント「バイコリア2009」に参加し、「品質、価格、技術を備えた韓国産部品の購入規模を拡大する」計画を明らかにしている。

大連だより「中国における偽造紙幣の流通について」

最近、中国では、中国各地で人民元100元札の偽札が大量に市場に出回り、この偽札の番号は「HD90」、「HB」、「FA」で始まるものが多く、多くの商店では同番号で始まる100元札は受取りを拒否されている旨報じられています。

このような報道を踏まえ、中国人民銀行(中央銀行)では、同行のホームページやプレスリリースにおいて、(1)新聞等で報じられている偽札は、2007年から見つかってきている、(2)偽札は、手で触ったり、肉眼で識別できる、(3)「HD90」等の通し番号だけで偽札と判別することは正しくない、(4)偽札が銀行の偽札鑑別器でさえ識別できないほど精巧という見解は確かではない、等述べています。また、偽札を受け取ったり使用したりすることがないように、中国国内において偽札が流通している可能性があることに留意し、

日本円等の外貨を人民元に両替する際は、インターネットのブログ等に掲載されている不可認の両替商等では換金をせず、必ずホテル、銀行等の金融機関を利用するように、と注意を呼び掛けています。

先日、当地の本邦銀行へ行き、当事務所口座より運営費用4万円を出金したところ、金種指定していないにも関わらず、下の写真の通り現金を手渡されました。



ちなみに、50元の手束は全て新券です。

聞くとところでは、100元×1束より50元×2束の方が安心で喜ぶ中国人も増えているとのこと。今回50元束を混ぜられたのも、銀行として顧客により安心してほしい、との配慮なのでしょうね。

日本人にとって、紙幣受授の都度すかしや通し番号を確認する行為が習慣付いているはずも無く、ここが「外国」であることを改めて認識させられます。

○大連市に関する各種お問い合わせは
駐大連北九州市経済事務所
大連市西岗区中山路147号 森茂大厦5階
URL <http://www.kfta.or.jp/jimusho.html>
TEL +86-411-8360-7298
(所長/久保田、副所長/藤村)

中国・大連市にチャレンジショップ(北九州ギャラリー)開設

(社)北九州貿易協会も構成メンバーとして参画している「Made in Japan Shop(北九州ギャラリー)運営協議会」(会長:福岡県中小企業家同友会北九州支部幹事長 大野正人)は、中小企業の中国市場販路開拓を目的に、本年5月に中国大連市中心部のホテル1階部分(約100㎡)に、海外チャレンジショップ『日本北九州商品展示販売センター(愛称:北九州ギャラリー)』を開設することになりました。

出展者は、このチャレンジショップが有する下記3つの機能を活用し、中国国内での販路開拓を目指すことができます。

- ①出展者は、初期段階で多大な初期費用が必要とされる中国ビジネスに対し、廉価なコストで市場調査、関心のある商談先の取り付けなどを行うことができます。
- ②現地営業マンが出展者に代わり現地商習慣にあった営業活動を行うため、出展者は中国に向くことなく現地のテストマーケティングを行うことができます。
- ③出展者は、食品、雑貨について現地で小売販売も行うことができます。



チャレンジショップが入居するホテル外観



チャレンジショップの内装イメージ



出展者説明会の様子

2月6日(金)に開催された出展者説明会には、市内企業を中心に137名(食品関係者55名、雑貨・工業製品関係者82名)が参加するなど、世界的な景気後退の下にあっても、中国が「世界の市場」として期待されていることが窺えました。説明は、実際の販路開拓業務を担う中国商社2社の経営責任者が行い、参加者はチャレンジショップを活用することで中国ビジネスへ参入することの優位性、実際の販路開拓手法、出展品の輸出手続き等について熱心に聞き入っていました。

チャレンジショップには60の展示ブース(1ブースあたり、縦×横×高さ=50cm×50cm×50cm)が設置されますが、募集開始直後より多数の問い合わせがありました。

業種別には、工業都市北九州市らしく工業製品が過半数を占めていますが、次いで食品分野でも全体の3割を占めるなど、幅広い業種から出展希望があっており、空きスペースは残りわずかです。

今回、海外チャレンジショップが開設されることにより、今後、中小企業による中国への販路拡大が促進されることが期待されるなど、地域経済にとって明るい話題となっています。

▶ 出展お申し込み、お問合せ先

福岡県中小企業家同友会北九州地区会
株式会社F F Gビジネスコンサルティング
北九州商工会議所まちづくり推進部国際課
北九州市産業経済局貿易振興課

TEL (093) 551-3111 (担当:三宮、大野)

TEL (092) 723-2244 (担当:長田、渡辺)

TEL (093) 541-0187 (担当:大中、堀田)

TEL (093) 551-3605 (担当:安武、田代)

上海事務所移転のお知らせ



所長
浮田 真吾

2005年7月に開設された「駐上海北九州市経済事務所」は、福岡県、北九州市、福岡市、九州電力(株)の4者による共同事務所(九州上海事務所)の構成員として活動を続けてきましたが、このたび、事務所を移転するとともに、北九州市の単独事務所として新たなスタートを切ることとなりました。

これに伴い、本年4月より、大連と同様、上海事務所についても、社団法人北九州貿易協会が所管する海外事務所となります。

これを機に、日中経済交流の促進に寄与すべく、今まで以上に努力する所存ですので、一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

現地でのビジネスに関してお困りの方は、お気軽にお問い合わせください。また、上海にお越しの際は、ぜひ、お立ち寄りくださいますようお願い申し上げます。



▶ お問い合わせ先

(社)北九州貿易協会上海代表処(駐上海北九州市経済事務所)
TEL +86-21-6385-8821/8831 (所長:浮田)
上海市盧湾区淮海中路398号 世紀巴士大廈9樓 B1



Member's Profile

会員紹介

宮西設備株式会社



代表取締役会長

宮西 健司

『開拓精神』『たゆまぬ努力』そして『礼節』をモットーにして

当社は、私が20歳(S32年)の時、県外で配管工として3年程修行し帰郷、その後北九州市で配管工事の下請けをしながら宮西設備工業所(行橋市)を創業。

当時は高度成長期にあり、下請けながらも人手不足が深刻でありましたが、幸いにも兄弟たちの協力を得ることになり、以来年々事業も順調に発展し、給排水、空調和工事を主事業としてS45年に宮西設備(株)を設立し、現在に至っております。

設立後の、S47に北海道帯広市を訪れた時、十勝平野の開拓を目的に結成された『晩成社』を率いる『拓聖 依田勉三』の『自分には何も残らないがこの会社が存続する事が一番である』という言葉に、深い感銘を受けたことから『開拓精神』を当社のモットーにした次第です。

翌年7月、隣町の苅田町に日産自動車の工場建設の発表があり、営業に行くべきか迷った私は、後日後悔することの無いように営業を開始しました。当然ながらなかなか受注できず、何度か諦めかけましたが、その都度初心に戻り、粘り強く営業した結果、受注に成功する事ができました。

以来今日まで30年以上のご愛顧を頂きながら、更には部品メーカーの進出においても受注の機会を頂いており、今日まで設備工事の他、自動車部品加工の分野においても取引させて頂いております。

今後お客様に愛される会社をめざして更に精進を重ねる決意です。

SKC会計グループ 税理士法人 SKC

当社は今年で創業40年を迎えることができました。この40年間北九州のこの地に根ざし「中小企業経営者の夢の実現をサポートする」ことを使命として研鑽してまいりました。創業は税理士事務所ですから、税務や会計業務がベースですが、日々多くの課題と向き合う中小企業経営者の皆様のお役に立てることを願って研鑽する中で、税務会計だけでなく経営全般のコンサルティングをお受けできるところまで、成長させていただきました。これからも、経営課題や財務・税務等についてはもちろん、どこに持ち込んでよいか判らないような悩み事などのご相談をお待ちしております。必ずやご期待にお応えさせていただきます。そのために、弁護士、司法書士、社会保険労務士、不動産鑑定士などと、そして全国の多くの専門家とネットワークをつくってまいりました。



昨今の厳しい社会経済環境のなかで、中小企業の経営者の皆様は、日々獅子奮迅のご活躍で経営課題に取り組みされていることと思っております。厳しい中で懸命に進んでいますと、得てして孤独になりがちです。「経営者は孤独だ」とは聞きなれた台詞ですが、そんな時こそ私どもにお声かけください。私どもの業務は、企業の内情に直接触れざるを得ません。だからこそ何よりも守秘義務は重要な行動基準です。経営者の皆様と共にその課題や悩みを考えさせていただければこんなにうれしいことはありません。

私どもスタッフには、かなり長く生きて多くの経験を積んだ者もおりますし、あらゆる分野の専門家とのネットワークもあります。どうぞお気軽にご利用ください。

私どもの行動基準は「三氣三行」(さんきさんこう)です。「元氣・勇氣・覇氣」の三氣と「即行・励行・続行」の三行がその内容ですが、厳しい状況だからこそ、勇気をもって胸を張って元気に進んでまいります。

貿易保険ご活用のおすすめ

独立行政法人 日本貿易保険 大阪支店
お客様相談室長 山本 浩二

前回の2009年・冬号では、貿易保険制度および機能について説明させていただきましたが、今回は貿易保険でてん補されるリスク、貿易保険のてん補範囲および日本貿易保険(NEXI)の貿易保険商品の説明をさせていただきます。

1. 貿易保険でてん補されるリスク

① 非常危険 (Political Risk)

〈取引の当事者の責任ではない不可抗力的な危険〉

- ・輸入や為替取引の制限・禁止。
- ・戦争・テロ行為を含む内乱・革命。
- ・支払国に起因する外貨送金停止。
- ・経済制裁等による日本国政府の輸出禁止措置。
- ・制裁的な高関税。
- ・天災地変等

② 信用危険 (Commercial Risk)

〈取引の相手方の責任に帰せられる危険〉

- ・契約相手方の破産等。
- ・決済期限から3ヶ月以上の債務履行遅滞。
- ・外国政府等が契約相手方の場合は、契約の一方的破棄等。

2. 貿易保険のてん補範囲

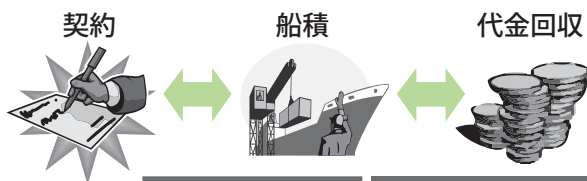
① 船積不能危険

保険契約の締結から船積みまでの間に、仕向国における戦争・内乱、輸入制限など、また経済制裁等による日本政府の輸出禁止、支払人が倒産に準ずる状態(倒産を含む。)等の要因で貨物の輸出が出来なくなったことにより輸出者が受ける損失をてん補。

② 代金回収不能危険

貨物を船積みした後に、契約の相手国での外貨送金規制や戦争・内乱等による混乱、バイヤーの倒産や資金繰り悪化等の要因で代金の回収が不能となったことにより輸出者が受ける損失をてん補。

■ 貿易保険でてん補されるリスク



対象とならない危険 輸出者側の契約不履行・商品クレーム等

3. NEXIの貿易保険商品

NEXIは、対外取引に潜む非常危険や信用危険の顕在化により受ける損失を貿易保険制度でてん補することで企業の海外展開を支援しています。

またNEXIは、企業のニーズや新たな取引形態に対応するため、新たな保険商品の提供にも注力しており、2004年4月には、特定のバイヤーに対して継続的輸出を行う輸出者向けの「限度額設定型貿易保険」、2005年4月には、中小企業の海外市場へのチャレンジを支援するため、「中小企業輸出代金保険」を創設しました。

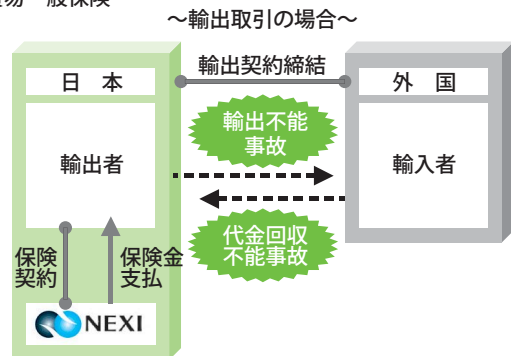
① 貿易一般保険

貿易一般保険は、NEXIと保険契約を締結した後の非常危険および信用危険による船積不能危険および代金回収不能危険をカバーしています。

図「貿易保険でてん補されるリスク」で説明すればA/B/C/Dの全てのリスクをカバーしており、最も利用が多い保険です。

この保険の利用方法には、企業が輸出契約毎に付保を選択して申し込む方法「貿易一般保険(個別保険)」とあらかじめ企業とNEXIが1年間の特約を締結し、特約に該当する全ての輸出契約を申し込む方法「貿易一般保険(企業総合保険)」があります。

■ 貿易一般保険



この記事に関するお問い合わせ

独立行政法人
日本貿易保険 大阪支店
NEXI <http://nexi.go.jp>

《お客様相談室》 ☎ 0120-649-818

「貿易保険ご活用のおすすめ」は4回の掲載予定となっています。
次回は、引き続き貿易保険商品の説明をさせていただく予定です。

(株)日本統計センターでは様々なデータを収集・整備しています。例えば、日本国内では、都道府県、市区町村といった地域から町丁等の小地域にわたる国の指定統計や、独自推計の性・年齢別昼間人口、所得ランク別就業者数等のデータベースを、中国国内では、省別、都市別（副省級市を含む283地級市および4直轄市）の人口、GDP、固定資産投資額、外国資本利用状況等の統計や、独自推計の性・年代別推計人口、品目別推計消費支出額等のデータベースを構築しています。ここでは、これらデータベースを用いた分析事例や、インターネットによる当社配信サービスの事例等、様々な形態によるマーケティング分野でのデータベース活用事例を紹介していきます。

データベースを用いた地域比較

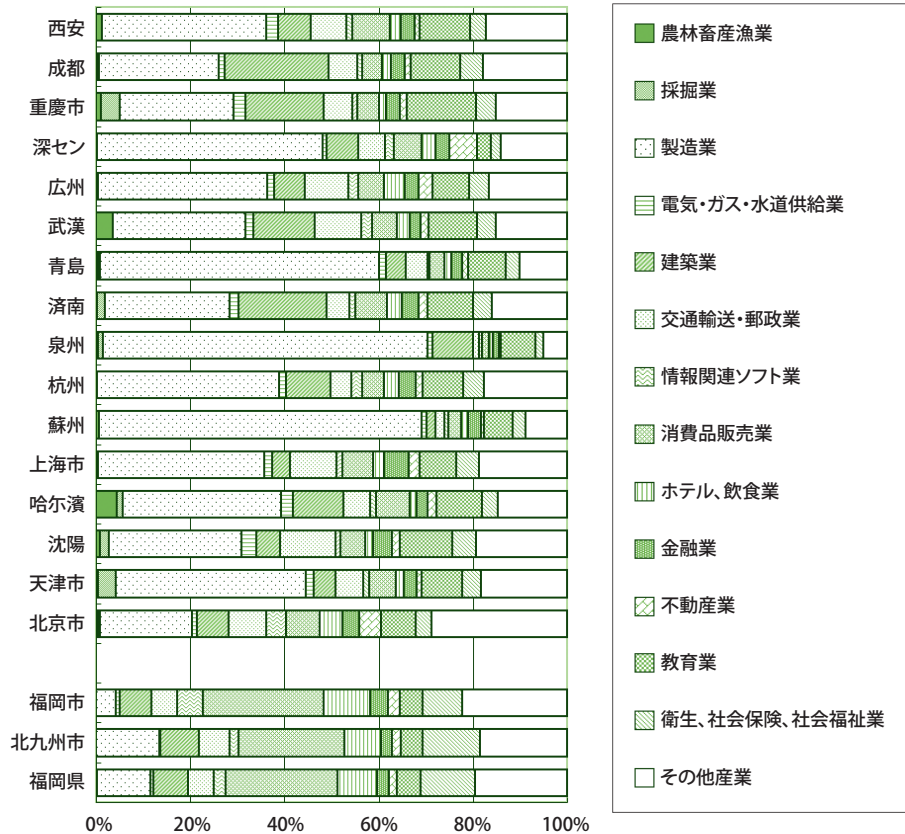
中国主要都市と日本国内(福岡県)の産業別従業者構造の比較

同じ日本国内でも、地域によって産業構造は大きく異なります。中国においても同様で、都市によってどのような産業が主となっているかは異なります。

図は、当社のデータベースから、中国の主要都市（事業所数規模による上位都市）における産業別従業者数比率を示したものです。また、同図には、日本国内との比較のため、福岡県、北九州市、福岡市について、事業所・企業統計の産業大分類を基に中国での産業分類とマッチングを行い、該当する産業のデータをあわせて表示しています。

中国では、全体に製造業の割合が高く、中でも泉州、蘇州では7割近くに達しています。一方、日本では多くを占める消費品販売業（日本の事業所・企業統計では卸売・小売業と同定）は、中国では北京、上海等の大都市でも1割に満たない水準であることがわかります。

■ 中国主要都市と福岡県、北九州市、福岡市の産業別従業者数構成比(2006年)



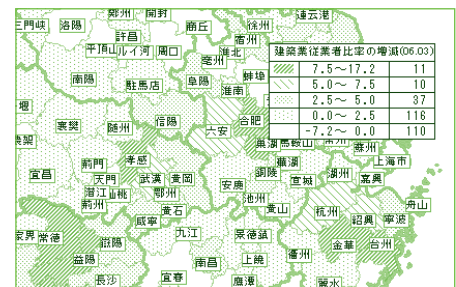
中国における産業別従業者数構成比の増減(建築業の事例)

次に、各々産業における従業者数構成比は、どのように変化しているのでしょうか。

右図は、現状、都市によってかなり差異のみられる建築業従業者数の構成比について、中国での最近の動向として、2003年から2006年にかけての変化をみたものです。

建築業についてみた場合、浙江省、安徽省、湖北省、湖南省、山東省等の一部都市を中心に、構成比は増加しています。

具体的には、図に示すとおり浙江省では金華、台州等の都市、安徽省では合肥、巢湖等の都市を中心に増加する傾向の強いことがうかがえます。



西日本インポートフェア2009

会期 平成21年5月2日(土)～6日(水) 10:00～18:00(最終日のみ17:00まで)
 会場 西日本総合展示場・新館(北九州市小倉北区浅野3-8-1)
 入場料 一般500円 前売券350円 高校生以下無料
 主催 (財)西日本産業貿易コンベンション協会
 URL <http://www.convention-a.jp/import/>

お問い合わせ先 (財)西日本産業貿易コンベンション協会 TEL.093-511-6800

海外の優れた製品や生活様式を広く紹介する、ゴールデンウィークの定番イベントで、日常目にする事の少ない輸入品の販売会です。世界数十カ国から食品・飲料・家具・調度品・衣類・宝石・玩具・民芸品等、魅力の商品を揃え開催します。

第49回 西日本総合機械展

会期 平成21年6月11日(木)～13日(土) 10:00～17:00(最終日のみ16:00まで)
 会場 西日本総合展示場・新館(北九州市小倉北区浅野3-8-1)
 入場料 700円
 主催 (財)西日本産業貿易コンベンション協会
 URL <http://www.convention-a.jp/kikai/>

お問い合わせ先 (財)西日本産業貿易コンベンション協会 TEL.093-511-6800

西日本地域の産業経済に必要な最新・最先端の工作機械・CAD/CAM・精密測定器ならびに産業用システム機器など金属加工全般に関わる機器や技術を一堂に展示し、デモンストラーションを行います。

アジア産業交流フェア2009

会期 平成21年6月11日(木)～13日(土) 10:00～17:00(最終日のみ16:00まで)
 会場 西日本総合展示場・新館(北九州市小倉北区浅野3-8-1)
 入場料 無料
 主催 アジア産業交流フェア実行委員会
 URL <http://www.asia-techfair.com/>

お問い合わせ先 北九州市産業経済局貿易振興課 TEL.093-551-3605

韓国、中国、東南アジアの企業と国内企業とのビジネスマッチングを目的とした商談会形式の展示会(機械・金属加工、電子・電気分野)です。

出向・移籍で築く 人と企業の安心ネット

経済・産業団体、厚生労働省と連携して、全国的なネットワークで出向・移籍のあっせんに努めています。

幅広いデータベース

ハローワークや経済団体などと連携し豊富な人材情報を提供しています。

信頼と安心のかけはし

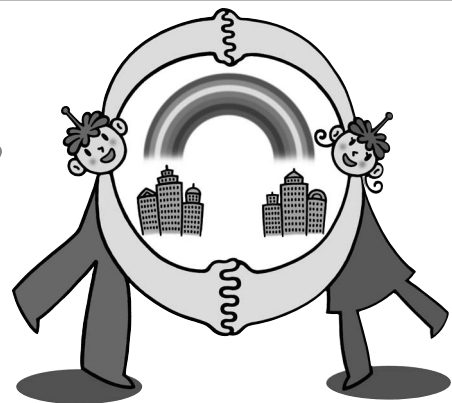
経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された公益法人です。

■在職者の方もサポート

在職者の方の職業相談・職業紹介を行っています。

■相談等の費用は無料

情報の提供、相談、あっせんについての費用はかかりません。



お気軽にご相談ください

財団法人産業雇用安定センターは、「企業と企業をつなぎ、企業と人材をむすぶ、出向・移籍のかけはし」です。

全国ネットの人材情報

企業間の出向・移籍のお手伝いを47都道府県の事務所で行っています。



出向・移籍の専門機関

財団法人産業雇用安定センター

ご利用時間 9:00から17:00(土・日・祝日は休業)

ホームページ <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

福岡事務所

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル6階
TEL 092-475-6295 FAX 092-434-5272

北九州駐在事務所

〒802-0004 北九州市小倉北区鍛冶町1-10-10 大同生命北九州ビル7階
TEL 093-531-7806 FAX 093-531-7906